

米国笹川平和財団

「新たな挑戦に対応する日米指揮統制の近代化（仮訳）」の発表のお知らせ

米国笹川平和財団（所在地：ワシントン DC）は、「新たな挑戦に対応する日米指揮統制の近代化（仮訳）」を発表しました。

米国笹川平和財団のNEXT アライアンス・イニシアティブは日米が直面する新たな脅威の深刻性と緊急性を念



頭に置き、日米指揮統制の近代化に関する2回の会合を2022年秋と2023年春に開催しました。日米同盟は戦略的に収斂し、共通の脅威に協力して対応する必要がありますが、そのためには両国間の指揮統制の近代化は喫緊の課題になっています。

今回発表しました「新たな挑戦に対応する日米指揮統制の近代化（仮訳）」は、日米の専門家が参加した討議の主要点を整理しています。報告書は、1. 背景と序論、2. 必要性、課題、機会の評価、3. 主要テーマと討議事項、4. 日米同盟における指揮統制近代化のための3つの選択肢、5. 前提的結論と今後のステップから構成されています。

「新たな挑戦に対応する日米指揮統制の近代化（[仮訳](#)）」と[正式な英語版](#)は、米国笹川平和財団の[ウェブサイト](#)でご覧いただけます。本報告に関するお問い合わせは、エリム・ギュラム（egulum@spfusa.org）までご連絡下さい。

###

米国笹川平和財団について

米国笹川平和財団は、1990年にワシントン DC に設立された民間非営利団体です。米国笹川平和財団は、民主主義、法治、人権、市場経済に基づく国際社会の安定、平和、繁栄を念頭に置き、日米両国の相互理解の深化と関係の強化を目的としており、研究、発表、会合、人脈構築などのシンクタンク活動の充実を図って参ります。